

## 鳥骨による S 状結腸憩室穿孔の 1 例

なが み はる ひこ<sup>1)</sup> おお たに じゅん すえ みつ ひろ や<sup>2)</sup>  
 長 見 晴 彦<sup>1)</sup> 大 谷 順<sup>2)</sup> 末 光 浩 也<sup>2)</sup>  
 うえ だ こう じ<sup>2)</sup> す とう いち ろう おお つか あき お<sup>2)</sup>  
 植 田 宏 治<sup>2)</sup> 須 藤 一 郎<sup>2)</sup> 大 塚 昭 雄<sup>2)</sup>  
 た なか つね お や の せい じ<sup>3)</sup> お だ てい じ<sup>4)</sup>  
 田 中 恒 夫<sup>3)</sup> 矢 野 誠 司<sup>3)</sup> 織 田 禎 二<sup>4)</sup>  
 の さか せい し<sup>1)</sup>  
 野 坂 誠 士<sup>1)</sup>

キーワード：鳥骨，S 状結腸憩室穿孔，腹膜炎

### 要 旨

今回我々は鳥骨による S 状結腸憩室穿孔によって腹膜炎，腹腔内膿瘍を併発した症例を経験した。症例は56歳，男性で腹痛発症 4 日前に焼き鳥を飲食していた。症状は左下腹部痛，腹部膨満感，イレウス状態であった。術前CTにて腹腔内膿瘍，S 状結腸多発性憩室及び S 状結腸内に高輝度の異物を認めた。緊急手術を施行し右上腹部空腸間膜，空腸間に膿瘍が存在しこの部分で小腸が癒着しイレウスを発症していた。さらに S 状結腸及び S 状結腸間膜は膿瘍と一塊となっており，S 状結腸に多数の憩室を認め，S 状結腸切除を施行し口側結腸は単孔式人工肛門とした。切除標本の検索では S 状結腸内に長径約 3 cm の鳥骨を認めた。この鳥骨が S 状結腸憩室へ穿孔し腹膜炎を発症したものと推測された。自験例は極めてまれであり，これまで文献上僅か 3 例の報告があるのみである。原因不明の腹痛症例の場合は憩室炎のみならず異物による憩室穿孔も考慮すべきと考える。

### はじめに

誤嚥された消化管異物の多くは消化管を損傷せずに自然排泄されるが，まれに損傷をきたす事がある。消化管異物の原因としては本邦では欧米に比べ魚類を摂取することが多く，魚骨を誤嚥する

機会が多い。しかし多くの場合，消化管より吸収されたり排泄されるが，時に消化管を穿通し，腹膜炎症状を呈したり腫瘍形成をきたすことがある。今回，我々は鳥骨による S 状結腸憩室穿孔により腹腔内膿瘍および腹膜炎症状を合併した症例を経験したので若干の文献的考察を加えて報告する。

Haruhiko NAGAMI et al.

- 1) 長見クリニック 2) 公立雲南総合病院外科
  - 3) 島根大学医学部消化器総合外科
  - 4) 島根大学医学部循環器呼吸器外科
- 連絡先：〒699-1311 雲南市木次町里方633-1

### 症 例

症例：56歳，男性